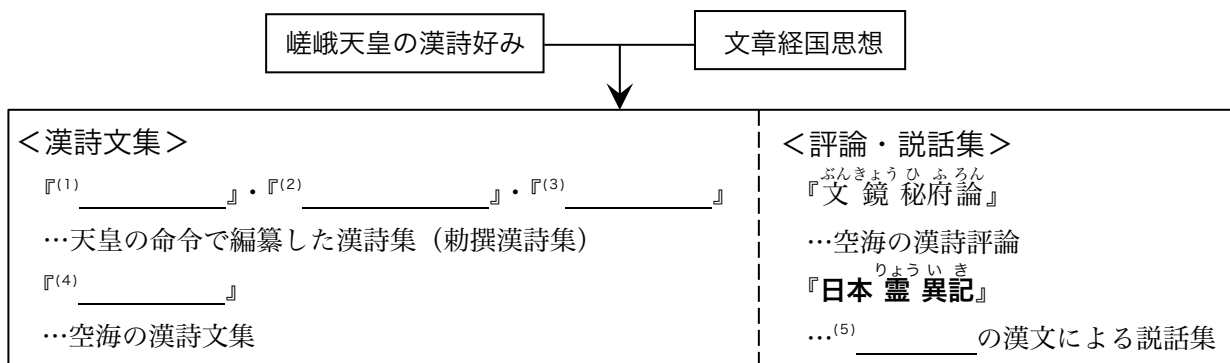


漢詩好みと影響

弘仁・貞観文化には、密教の他に唐風の影響もある。二所朝廷の打開後、嵯峨天皇は自らが好む漢詩に情熱を注げた。嵯峨の漢詩好みは、中国から伝わった「国家を治（経）めるには漢詩（文章）が不可欠」という思想と相まって、人々の漢詩作りを盛んにしたり、大学の学問や字体に唐風化を起こしたりした。

○ 様々な唐風化

● 代表的な漢文学



● 貴族と庶民の教育

大学で、儒教の経典を学ぶ明経道と、中国の歴史・文学を学ぶ⁽⁶⁾_____が盛んになった。

→貴族は子弟の教育のために、書庫などを備えた寄宿施設⁽⁷⁾_____を設けた。

⇒特に次の4氏族の（7）が有名である。

〔和気氏：⁽⁸⁾_____、橘氏：⁽⁹⁾_____、藤原氏：⁽¹⁰⁾_____、在原氏：⁽¹¹⁾_____〕

◇空海は⁽¹²⁾_____をひらき、庶民に仏教や儒教を教育

大学別曹の語呂合わせ

わけの分からぬ構文に 立場なくしてがっくりの 藤原くんには勸学の 奨学金がありました。

(和気) (弘文) (橘) (学館) (藤原) (勸学) (奨学) (在原)

● 唐風の書

唐風の書体である唐様が広まった。

⇒⁽¹³⁾_____天皇・⁽¹⁴⁾_____・⁽¹⁵⁾_____の3人は、

唐様の達筆家として知られ、⁽¹⁶⁾_____と総称される。

◇空海の書は、彼が最澄に宛てた手紙「⁽¹⁷⁾_____」で有名

◇唐様に対して、日本風の書体は和様



図1 唐様

図2 和様

多才な人—空海

空海は才能にあふれ、仏教だけでなく、漢詩や書道にも名を残している。書道では両手のみならず、口や両足も同時に使えたらしい。この様な書き方では、「弘法にも筆の誤り」も当然と言える。

